

— みんなで守ろう、文化財。 —

回覧

平成 29 年度

文化財防火訓練

毎年1月26日は、「文化財防火デー」です。昭和24年1月26日、現存する世界最古の木造建造物・法隆寺の金堂が炎上し壁画が焼損してしまったことの反省に基づき、国民の財産である文化財を守るため、文化財防火デーが制定されました。

安城市にも、たくさんの貴重な文化財が存在します。安城市では毎年、文化財防火デーに近い土曜日または日曜日に文化財防火訓練を行い、市民の皆さまにご参加いただいています。

日時 平成 30 年 1 月 27 日 (土)
午前 9 時から (1 時間程度)

会場 神光寺 (上条町)

訓練内容

- ・消火器の練習
- ・模擬文化財搬出訓練
- ・負傷者救助訓練
- ・放水消火訓練

しっかり練習して、
いざという時に
ぞなえよう！



昨年度は、東端八剱神社（東端町）で行いました。



自分の身に
文化財を守る
練習じゃ！

予約不要

子どもから大人まで、
どなたでも参加できます。

この機会に、あなたも体験しませんか？



(協力) 上条町自主防災会、安城市消防団、安城消防署

お問い合わせ先 安城市教育委員会文化振興課文化財係 (歴史博物館内) : 安城町城堀 30 番地 TEL. 77-4477

—神光寺の文化財—



もくぞう やくしによらいりゅうぞう
木造 薬師如来立像 時期不詳

薬師如来は、人々に安堵を与えるために右手をあげ、左手には中指・薬指をわずかに曲げて薬壺を持ちます。来世の極楽往生を説く阿弥陀信仰とは対照的に、病気を癒し災いを除くという、現世利益的な性格をもつ仏です。

神光寺薬師如来再興縁起絵巻には、元禄 13 年（1700）の火災により本堂や仏像が焼失した後に、神光寺 6 世健亮が、慈覚大師（円仁）作の薬師如来像を入手し、再建した本堂に安置したと記されています。

もくぞう じゅうにしんしょうりゅうぞう
木造 十二神将立像 江戸時代

十二神将は、薬師如来の大願に応じて表された神で、本尊の周囲にあつて鎧に身をかため、それぞれ異なった物を持ち、薬師如来や薬師経を信仰する者を守る役目を担っています。十二支を示す動物が像の頭頂部に刻まれています。これは、中世以降に彫られた像に多い特徴です。



じんこうじやくしによらいさいこうえんぎえまき
神光寺薬師如来再興縁起絵巻
享保 3 年（1718）

長さ約 3m の巻物に、神光寺再興の経緯や、薬師如来の縁起が述べられています。写真は、元禄 13 年（1700）の火災の場面、村人が駆けつける様子を描いています。